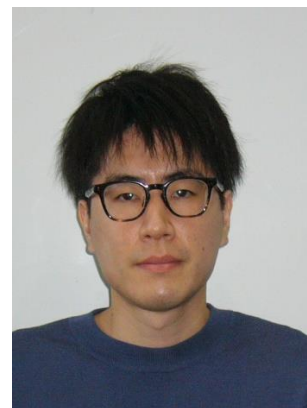


木本 充彦

国際電気通信基礎技術研究所

インタラクション科学研究所 エージェントインタラクションデザイン研究室



誉めるロボット、煽るロボット：

作業効率・感情・行動伝搬への異なる効果

褒めは社会的報酬として、モチベーションやパフォーマンスの向上といった様々なメリットをもたらすことが知られています。一方で、パフォーマンスを向上させる取り組みとして、褒めではなく煽るアプローチの有効性も報告されています。私たちのグループでは、このようなロボットからの異なる働きかけに着目し、ロボットが人を褒める場合と煽る場合で、パフォーマンスや心理状態、および他者への態度にどのような変化をもたらされるかについて検証を進めてきました。実験の結果、ロボットが人を褒めることでパフォーマンスが向上し、不安を減少させるだけではなく、その人が他者をより褒めるようになることが明らかになってきました。本講演では、ロボットによる褒めや煽りが人にどのような影響をもたらすのか、研究成果についてご紹介します。

褒める：
(良いペースです、
この調子です)

煽る：
(遅いペースです、
もっと頑張りましょう)

